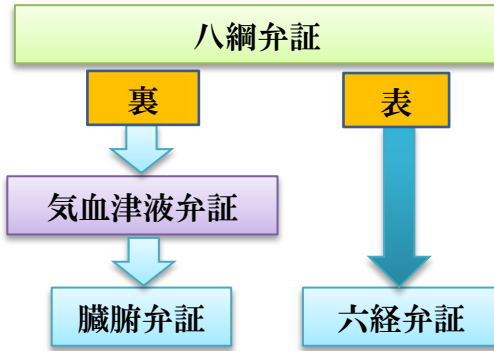


八綱弁証をマスターしよう！

弁証論治とは？ 八綱弁証とは？

あくまで一例ですが...



八綱弁証で、まず、情報を整理！
次の弁証や治療の方向性を決める1st Step！！

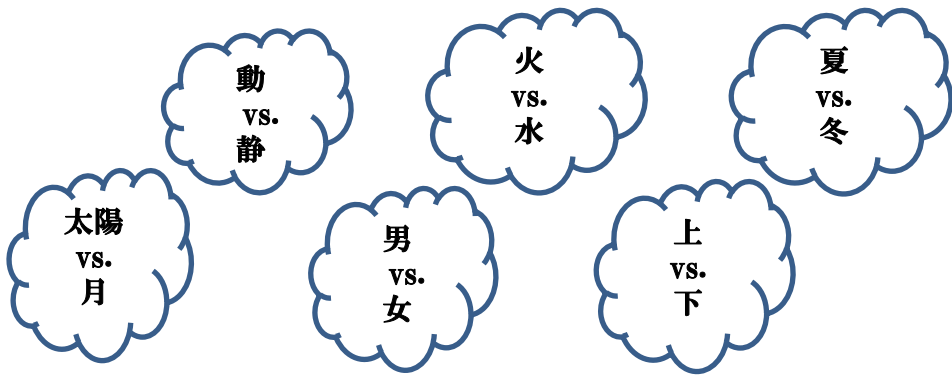
八綱とは、**表裏 寒熱 虚実 陰陽**を指す。陰陽は八綱弁証を統括する項目であるが、具体的に検討することはないので、表裏・寒熱・虚実の3項目について判断する。

弁証を考える上で最も基本的な陰陽の概念をおさらいしましょう

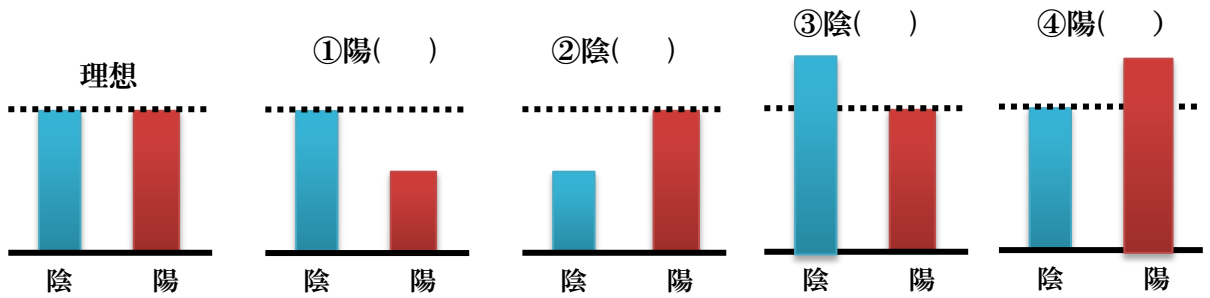
陰陽

世界のすべては陰と陽に分けることができる。陰陽は互いに助け、コントロールしあいバランスを保とうとする

☆陰のイメージは？陽のイメージは？)^o^(

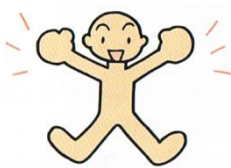


陰陽は相対論
同じ土俵上でしか
比較できない



バランスが取れている

バランスが悪く、体調を崩してしまう



バランスを調べて、健康体を目指す

***表証は風邪の初期、それ以外は裏証！とまずは覚えておこう！**

表裏

病変部位が浅いかの深いのか？

表証

病位が体表面にある

カゼなど外感病の初期、発病が急、変化が早い、病程が短い

裏証

病位が深い、裏（臓腑 血脈 骨髄 など）にある

症状も病因も様々、病位も広範囲



表証でないものが裏証

裏証というにはまず、表証を否定するのだー！

寒熱

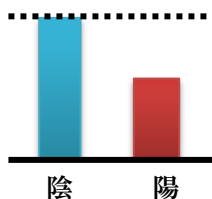
病気の性質が寒なのか熱なのか？

とても大切！！！！

寒証 **冷えている**

寒がり、温かいのを好む、顔面晄白、口渴なし、尿は透明で多尿、舌質淡、舌苔白、脈遅、脈緊

*** 実寒と虚寒をしっかりと区別！**



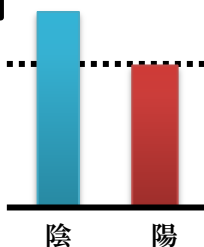
陽虚
(=陽が足りない)



虚寒
(足りなくて寒い！)

陽気不足で体を温煦できない
→寒いのを嫌う、四肢の冷え etc.

治法は**補陽**(陽を補う)



陰実
(陰が余分)



実寒
(寒いもの、冷たいものにやられる)

寒邪を感受(急に冷えたり、冷たいものを食べたり)→悪寒、お腹を壊す etc.

治法は**散寒**(寒を散らす)

補足

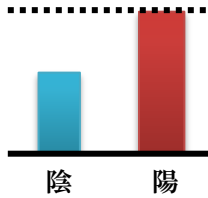
脈遅・・・寒くて血脈の運行が遅滞して現れる

脈緊・・・脈が緊張して張りつめた感じ。寒邪の影響で脈道が収縮するために現れる

舌質淡・・・正常な舌色より淡白なもの

熱証 熱っぽい

*虚熱と実熱をしっかり区別！



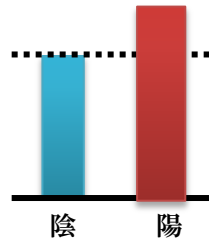
陰虚
(=陰が足りない)



虚熱

陰液の不足で陽を制することができない
五心煩熱、寝汗、頬骨の付近が赤い(顔面紅)、舌質紅、少苔、脈細数

治法は補陰(滋陰ともいう)



陽実
(陽が過剰)



実熱

熱邪にやられる
発熱、口渴、顔面紅潮、舌質紅、舌苔黄、脈数

治法は清熱

虚実

正気の盛衰と、病邪・病理産物の有無



虚証 正気(気、血、津液、精など)が不足することによって病態が現れている

実証 外邪の感受、体内の内邪や気滞、痰飲、瘀血によって病態が現れている

補足

脈数・・・速い脈。熱邪が盛んで気血の流れが速くなって起こる。

脈細・・・脈が糸のように細い。血や津液などの陰分の不足で脈道をみたせないことでおこる。

舌質紅・・・正常な舌色より赤味の強いもの

舌苔黄・・・苔の黄色味が強いほど熱が強い

裂紋・・・舌の表面に亀裂が入っている。陰液が虚している。

五心煩熱・・・五心とは両側の手掌、足底、心胸部を指す。その部位に熱感を感じ、同時に心煩して落ち着かない状態をいう

症例

78歳 男性 170cm 60kg X年12月10日

主訴：足腰のだるさ

現病歴：X年11月から足腰が冷え、だるくなるようになった

既往歴：X-1年4月 胃癌で、胃全摘

所見：四肢の冷え、顔色白い、難聴、耳鳴り、
舌診：舌質淡、白苔
脈診：沈細尺無力
腹診：臍下不仁

裏

外感病ではない、病位が深い

寒

足腰の冷え、四肢の冷え、顔色が白い、舌淡、白苔、
すべて冷えの所見である

虚

病理産物も特になく、病邪によって症状が出ているわけではなく、陽気不足で体が温煦できていない、

34歳 男性 178cm 80kg

主訴：慢性胃炎、胸やけ

現病歴：2か月前から胃痛を感じる

所見：顔面紅色、筋肉質、口臭(+)、溜息、イライラ、ガスがたまりやすい、
げっぷが出やすい、口渴あり
舌診：紅微黄苔
脈診：弦
腹診：胸脇苦満

裏

外感病ではない、病位が深く臓腑に及んでいる(胃)、経過が長く慢性的

熱

顔面紅色、口臭、口渴、舌紅微黄苔

実

気滞による症状が前面に出ている(溜息、イライラ、ガスがたまりやすい、げっぷ、脈弦、胸脇苦満)